

活動レポート

道東技術士委員会

文責：道東技術士委員会幹事長 清水慎吾

第 72 回 講演会を開催

1. はじめに

道東技術士委員会では例年、5 月に釧路、12 月は帯広にて総会・講演会を開催しています。

今回の活動レポートは、12 月 4 日に帯広で開催した第 72 回講演会について報告いたします。

2. 第 72 回講演会

前回の第 71 回講演会(釧路開催)では、道東道延伸を受け、水産都市釧路における地元水産物の付加価値を高める上で「鮮度を長く保つ為の技術」について北水研から木村氏(博士、技術士)を講師としてお招きし、その研究成果について講演して頂きました。

今回の第 72 回講演会は、北の大自然を誇る帯広での開催を踏まえ、植生調査に長年携わっておられる株式会社エコシステム 代表取締役の若原氏に「道東の貴重植物」について講演して頂きました。

○日 時：平成 27 年 12 月 4 日(金)

18:00 ~ 19:00

○場 所：アパホテル帯広駅前

○出席者：34 名(技術士 32 名、技術士補 2 名)

○講 師：株式会社 エコシステム

代表取締役 若原正博 氏

(京都大学大学院卒 博士(理学))

資格：生物分類技能検定 1 級植物部門

○演 題：「道東の貴重植物」

講演内容としては、道東地域の植物重要種についての現状、生育地、環境条件等について講演して頂きました。更に、国内帰化植物や交雑種に関する話題、重要種に指定されていないが絶滅が懸念される種、移植や保全方法に関する知見について、最新の情報を交えて詳しく説明して頂きました。



写真-1 若原氏

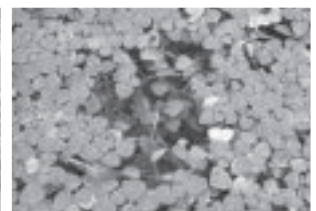
1) 道東地方では個体数が非常に少なく生育地が限定されている重要種

・道東にのみ分布

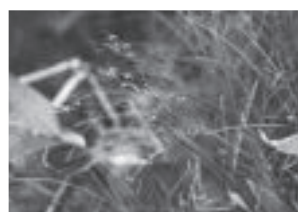
サカイツツジ、キヨシソウ、トモシリソウ、トナカイスゲ、ノルゲスゲ、ダイセツヒナオトギリ、カラフトグワイ、ヒシモドキ、ヒロハスギナモ、ススヤアザミ、ホザキシオガマ



サカイツツジ



ヒシモドキ



トナカイスゲ



ノルゲスゲ

2) 国内帰化植物である重要種

- ・道東では栽培株起源のものと推察される植物
サクラソウ、ワサビ、アサザ、ホタルブクロキ
キョウ(多くが栽培株起源で一部野生株)



キキョウ



ワサビ

5) 分布限界あるいはそれに近く個体数が少ない

- 北限…マルバスミレ、ヒナスミレ、ヒカゲスミレ、
サクラスミレ、アカネスミレ、ミツデカエデ、ジ
ガバチソウ、アズマスゲ



マルバスミレ



ヒナスミレ

3) 交雑により減少している重要種

- ノダイオウ…エゾノギシギシやナガバギシギシと
の雑種が容易にできるため、近年住宅地や農地周
辺部に生育している個体には、雑種が急増してい
る。固定には注意が必要である。



ノダイオウ

4) 重要種に含まれないが道東域では絶滅が懸念されている植物種

- ・外来種の侵入により激減
エゾノタンポポ、シコタンタンポポ



エゾタンポポ



シコタンタンポポ

以上が主な講演内容でありましたが、環境調査業務等に直接関わっている参加者からは、専門的な質問も多数あり、実りある講演となりました。



写真-2 講演会風景

3. 意見交換会

講演会終了後は、紅葉代表から11月末に行われた本部主催地方委員会会議における報告をして頂くとともに、乾杯の音頭にて意見交換会に入りました。意見交換会では、帯広地区および釧路地区からの参加者が、近況等の情報を交わしたほか、終盤には前回に引き続きビンゴ大会も行われ、景品を受け取る際の自己紹介で歓喜に沸く場面もありました。最後は今年度から副代表幹事となった上野技術士による道東技術士委員会恒例の万歳にて閉めて頂きました。

4. おわりに

今後も道東技術士委員会では、講演会等の開催を通じ、技術の研鑽に励むとともに地域が抱える課題解決に寄与すべく技術者育成を目指したいと考えております。